

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	スクールバス購入事業	北山村	6,339,000	6,339,000	総事業費 6,547,848

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	スクールバス購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北山村		
交付金事業実施場所		北山村下尾井地内		
交付金事業の概要		スクールバス購入 1台 スクールバスは北山小学校に通学する児童を対象としたスクールバスであり、村内および近隣村外から通学する児童を送迎するためのバスです。これまで使用してきたスクールバスは平成8年に購入後20年が経過し、走行距離も29万キロメートルを越えています。故障修理による維持費の高額化、修理期間の送迎への支障を考慮し、今回の事業にて車両更新を行うものです。		
総事業費		6,547,848	交付金充当額	6,339,000
			うち文部科学省分	0
			うち経済産業省分	6,339,000
交付金事業の成果目標		老朽化した車両の更新を行うことで、車両故障等による運休、車両不具合に起因する事故の発生を予防し、児童の通学における安全の確保を行います。また、修理等の減少による維持費の削減も行います。		
交付金事業の成果指標		29年度スクールバス関連経費10%削減（対28年度比） 車両不具合による事故や故障等の発生件数0件		
交付金事業の成果及び評価		交付金の活用により、購入された新型車両は、不具合の解消により、12月の導入以降突発的な経費が発生していないことから、経費の削減がなされていると考えます。また、燃費の向上・重量税の軽減などもなされているため、総合的な経費の削減が達成される見込みとなっております。また、車両不具合を起因とする事故や故障の不安が解消され、児童の通学時の安全確保の向上が達成されました。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
備品購入		指名競争入札	和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社	6,547,848
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。